

Letters from Manitoba

2018.7.30

ウィニペグに来て3か月が経ちました。気候は日本ほど暑くなく、夏はとても過ごしやすいです。日没の時間が22時なので、夜まで遊んでも空が明るいため危険ではありません。交通手段はバスしかないのでとても不便な上、時間通りに来ないことがほとんどですが、バスの運転手も含めカナダの人はとても優しいです。



ウィニペグでは、いろいろなお祭りがあります。5月には、ウィニペグで一番人気の観光地の The Forks というところで Winnipeg Night Market というものがありました。日本でいう屋台のようなフードトラックがたくさんあり、花火も打ち上がりました。夜になると音楽が流れ、全員が一つになって踊りだし、とても楽しかったです。

そして、7月1日は Canada Day です。町中の人々が、カナダ国旗の色である赤と白の服を着たり、リーフが書かれている帽子や国旗を持って歩いていました。一部の通りは歩行者天国となりフードトラックが立ち並びました。この日は、国民全体が愛国心で溢れている様子でした。昼間は様々なアーティストが歌ったり演奏をし、夜はオーケストラが、有名な映画の主題歌などを演奏していて、とても盛り上がりました。夜はみんなでカウントダウンをして、花火が上がりました。とても貴重な体験ができて嬉しかったです。



また、セメスターブレイクではニューヨークとロサンゼルスに行くことができました。ロサンゼルスに行った日が、ちょうどアメリカ独立記念日と被ったので、アメリカでも花火を見ることができました。その日はほとんどの人がアメリカ国旗の書いてある服を着たり、小さな国旗を持ち歩いたり、そこでも国民の愛国心を感じることができました。

(社会システム学科 2 年次生 R.K.より)